



ふれあい

発行所：鳥取県人権教育推進協議会（県人教）

〒680-0846 鳥取市扇町2番地

鳥取県立生涯学習センター 県民ふれあい会館内

TEL：0857(22)0578/FAX：0857(22)0593

URL：http://torikenjinkyou.sakura.ne.jp/

発行者 岡崎 周治

第75回全国人権・同和教育研究大会

「差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう」のテーマのもと、第75回全国人権・同和教育研究大会が、11月30日・12月1日の両日、熊本市を主会場に、熊本県会場(熊本市、玉名市、八代市、水俣市)、福岡県会場(久留米市、大牟田市)、鹿児島県会場(鹿児島市)と3県にまたがって、約7,000人参加のもと20の分散会が開催されました。



全体会に参加された倉吉市人教の岩間会長からは、以下のような報告をいただきました。

「静かな雰囲気の中、実行委員長の『……解放の火を掲げるなかまたちや被差別の位置に立たされている子どもや親とともに歩き続けている人たちの姿に、私たちはもっと学びたい。』という力強い挨拶と、2016年の地震による中止、2021年には新型コロナウイルス感染症での辞退となったが、今回は九州の複数県が分科会運営を快諾されたことで何とか熊本県での開催に至ったとい

うことを伺い、何よりもその熱い思いに感激しました。遠路参加できたことに感謝したいと思います。」

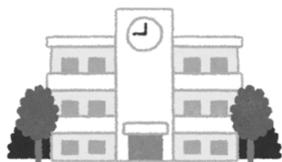
本県からは、第4分科会「人権確立をめざすまちづくり 第3分散会」(久留米市)で「外国人介護者が働きやすい職場づくり」と題して、社会福祉法人敬仁会 伊藤 誠さんと ウィンディ エリスナさん(インドネシア出身)が報告されました。伊藤さんの敬仁会のみならず、介護業界全体が深刻な人手不足で、人材確保が大きな課題です。その解決のために、外国人介護者の受け入れを積極的に進めてこられた経緯を報告されました。受入システムの流れ、日本人と外国人介護者が良好な関係を築き、働きやすい職場とするために実践・苦勞されてきたことや受け入れが始まってからの職場(職員・利用者)の変化等について、具体的な報告がなされました。また、ウィンディさんは実際に介護者として働いたり倉吉で生活したりして感じていることを率直に話されました。



会場からは、今後の課題としてコミュニケーション(言葉の壁)の取り方や行政・地域との連携のことなどについて質問や意見がありました。また、外国人の児童を受け入れる地教委からは、ウィンディさんに「どんな学校なら日本の学校に子どもを通わせたいですか」との質問が出ましたが、はっきりと「差別がない学校」と答えられました。また併せて会場に参加されていた夫のアセツプさんは、子どもへの思いや「断食・お祈りへの配慮」について語られました。最後はウィンディさんの地域コミュニティのイベントへ参加していきたいという思いも伝えられ、会場は二人の話を温かく受け止めるといった和やかな雰囲気でした。

また、本研究大会の実践報告協力者(司会者)として、鳥取県立鳥取中央育英高等学校 岡垣祐二さんには第3分科会「進路・学力保障」、公益財団法人鳥取市人権情報センター 福壽みどりさんには第4分科会「人権確立をめざすまちづくり」で務めていただきました。ありがとうございました。

公開人権教育 LHR 学習参観



鳥取敬愛高等学校

人権教育公開 LHR

10月23日(水)

鳥取県立鳥取商業高等学校

人権教育公開 LHR

10月24日(木)

鳥取県立八頭高等学校

人権教育公開 LHR

11月13日(水)

鳥取敬愛高校では、2年生の学習を参観しました。主題が「差別の当事者であることを自覚する」ということで、どんな授業が展開されるのか興味がありました。5つのクラスそれぞれ担任の想いや経験から学習展開を創られ、クラスごとに全く異なるアプローチでした。自身のフィリピンでの体験を基にされたり、災害時の避難所設営で顕著になる人権課題であったり、「心のバリアフリー」問題だったりしました。「差別の当事者」とは、差別者の場合と被差別者の場合があり、誰しもどちらの側にも立つとも言えます。“当事者”でなく“共事者”としての自覚と学びも大事だと感じました。

鳥取商業高校では、1年生の学習を参観しました。「性の多様なあり方をおして考える」学習でした。LGBT というように区切るのではなく、グラデーション的に捉えるようになってきました。SOGI、SOGIESC のように。ですから、この学習は、先生方も含め生徒一人ひとり全員が当事者です。そして、学校というハード面、ソフト面の整備も問われる、ある意味、行動化を迫られる厳しい学習であると思います。個々のアンコンシャスバイアスを問い直すきっかけの学習でした。

八頭高校では、1年生の「多様な性のあり方について考える」学習を参観しました。ここまで講演を聞いたり、知識的な内容を中心に学習したりした上で、本時では読み物資料を通して、LGBTである筆者がこれまで悩んできた思いを読み取り、その思いから自分にできることを考えていくという授業の流れでした。生徒たちはペアや班での活動で、自分の意見を伝えたり、友達の意見を聞いたりして、真剣に話し合うことで、自分の考えを深めていました。身近にある問題だという意識を持ちながら、このような学習を繰り返すことで、人権意識が積み上げられていく姿を感じ取ることができました。今後の人権学習の積み重ねに多いに期待したくなる授業でした。

文責 石岡 和明(敬愛、鳥商) 古澤 豪秀(八頭)

2025(令和7)年 各種集会・研究会の予定

第50回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会	※鳥取市を予定 期日は未定	
第76回全国人権・同和教育研究大会	11月29日(土)～30日(日)	大阪府・兵庫県
部落解放第68回全国女性集会	5月17日(土)～18日(日)	鳥取県鳥取市
第50回部落解放・人権西日本夏期講座	6月12日(木)～13日(金)	沖縄県那覇市
第56回部落解放・人権夏期講座(高野山夏期講座)	8月21日(木)～22日(金)	和歌山県高野町
部落解放第69回全国青年集会・第57回全国高校生集会	8月23日(土)～24日(日)	福岡県福岡市
第16回中国ブロック人権・同和教育研究集会	10月11日(土)	未定
部落解放研究第58回全国集会	11月10日(月)～11日(火)	宮崎県宮崎市
第46回全国人権保育研究集会	2026年1月24日(土)～25日(日)	熊本県熊本市
第40回人権啓発研究集会	2026年1月28日(水)～29日(木)	群馬県前橋市

編集後記



2024年は、元旦の石川県能登半島地震に始まり、記録的な猛暑、そして再び能登半島を襲った豪雨と災害の恐ろしさを痛感した一年でした。また同時に、人と人とのつながりの大切さを感じる一年でもありました。困ったときに互いに励まし合い助け合える地域を日頃から築いていかなければならないと強く感じました。

昨年はいろいろとお世話になりました。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。